

Weekly report

MINKABU
THE INFONOID

株式会社ミンカブソリューションサービス
東京都港区東新橋1-9-1

今週の注目材料=英国、豪州の金融政策会合に注目

2024年5月6日

7日にオーストラリア準備銀行(RBA・中央銀行)金融政策委員会、9日にイングランド銀行(BOE・中央銀行)金融政策会合(MPC)の結果が発表されます。ともに四半期見通しが示される回にあたっています。

豪中銀は現行の政策金利(オフィシャルキャッシュレート)4.35%での据え置き見通しが大勢となっています。

豪州の政策金利はコロナ過で同国にとって史上最低水準となる0.1%まで引き下げられた後、2022年5月に利上げを開始。昨年6月に4.1%まで引き上げた後、4会合の据え置きを経て昨年11月に現行の4.35%まで引き上げられました。その後は据え置きが続いています。

景気鈍化懸念などから一時は比較的早期の利下げ開始を期待する動きが見られ、年内複数回利下げも織り込む動きを見せていました。

しかし、4月24日に発表された1-3月期の豪消費者物価指数(CPI)が予想を上回る伸びとなり、見通しが変化しました。

豪CPIは前期比+1.0%、前年比+3.6%とともに市場予想の+0.8%、+3.5%を上回る伸びとなりました。中銀の注目度が高いといわれる刈込(トリム)平均CPIは前期比+1.0%、前年比+4.0%と、こちらも市場予想の+0.8%、+3.8%を上回りました。

この結果を受けて豪州の年内利下げ期待が後退。さらに追加利上げの期待も出てきました。今回の会合に関してもエコノミストのごく一部で利上げ主張がみられる状況です。短期金利市場動向をみると、9月までにいったん利上げに回るという見方が約60%と半分を超えてきています。

今回の会合では今後の利上げに向けて声明などに変化がみられるかがポイントとなります。今回は四半期金融政策ステートメントの発表回にあっており、そちらの内容も注目されます。物価見通しなどが上方修正されているようだ、利上げ期待がもう一段強まり、豪ドル高となる可能性があります。

弱く出た場合の豪ドル売りにも要注意です。30日に発表された3月の豪小売売上高は市場予想の+0.2%に対してマイナス0.4%と、予想外にマイナス圏に落ち込みました。2月がテラースウィフト効果もあってやや高め(前月比+0.2)に出た反動という面がありますが、豪景気の鈍化が進んでいるとの懸念につながるものともなっており、今回の声明などによっては6月の利下げ期待が持ち直す可能性がある点には要注意です。

英中銀MPCも据え置きが見込まれています。

前回の会合では昨年からの利上げを主張し続けていたハスケル委員とマン委員が現状維持投票に回り、現状維持8名対利下げ1名での現状維持となりました(ディングラ委員は2月の会合から利下げを主張しています)。

この投票結果を受けて市場の一部では利下げに向けた動きが強まるという期待を示す

動きが見られました。

しかし4月17日に発表された3月の英消費者物価指数が前年比3.2%と市場予想を上回る伸びとなり、インフレーターゲットの2%が遠いという状況もあり、一時織り込まれていた6月の会合での利下げ開始期待は後退しています。短期金利市場動向から見た利下げ確率は6月で約40%、4月初め時点では約70%となっていましたのでかなりの低下です。年内の利下げについては75%が2回を見込んでいます。

今回の会合はいわゆるスーパーサズデーとなります。四半期金融報告が発表される回にあたっており、ベイリー総裁による会見も予定されています(英中銀は年8回の会合のうち、金融政策報告が発表される4回のみ会見が組まれます)。

四半期報告で示される物価見通しなどの状況にかなり注目が集まっています。

会見での総裁の姿勢にも注目です。英中銀は米FRBや日銀などと違い、議長提案でも平気で否決してきます。ただ、ベイリー総裁になってからは議長提案が否決されたことがありません。昨年の利上げ終了後、総裁、副総裁(3名)、チーフエコノミストからなる内部委員は意見を一致させており、総裁の姿勢がいつも以上に重要になっています。

今後について物価を警戒する姿勢が強まっているようだ、早期利下げ期待が後退。ボンド高につながる可能性が高いです。

山岡和雅 | ミンカブソリューションサービシーズ 編集長

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行(旧ナショナルウェストミンスター銀行) 移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後にGCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ(現ミンカブ・ジ・インフォノイド)グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブソリューションサービシーズは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブソリューションサービシーズが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブソリューションサービシーズ)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。